

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



第67回西脇市民体育大会が開幕。12競技で熱戦が繰り広げられています。総合開会式では選手宣誓のほか、優秀選手章・団体章を贈呈しました。(10月4日、総合市民センター)



第31回JAみのり黒田庄和牛畜産共進会で、農家が黒田庄和牛の肥育成果を競合。体形や筋肉の張り具合などが審査されました。(9月30日、JAみのり黒田庄ライスセンター)



4中学校の吹奏楽部による合同演奏会で、生徒らが心のこもった演奏を披露。コロナ禍でも努力し続けた全校に特別賞「織の音賞」を贈りました。(9月20日、西脇市民会館)



市役所2階の郷土作家ギャラリーで「西脇市美術協会日本画部展」を開催。8人の作品12点を展示しています。(11月30日まで、西脇市役所)

トライやる・ウィーク地域で私たちができること

〔10月5日～7日 市内各所〕



社内の境内で落ち葉集めやごみ拾いなどを行う西脇南中学校の生徒たち

中学2年生が1日限りの「トライやる・ウィーク」を行いました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、5日間の事業所での活動は中止に生徒は「地域とのつながりの深化」を視점에、地域の課題解決に取り組んだり、鉢植え作業や落ち葉集め、草引きなどの作業に汗を流したりしました。

国道175号東播丹波連絡道路—早期全線開通へ大会

〔10月17日 総合市民センター〕



東播丹波連絡道路の整備状況を聞く出席者。大会は西脇市・丹波市などからなる実行委員会が主催

中国自動車道・滝野社インターと北近畿豊岡自動車道・氷上インターを結ぶ「国道175号東播丹波連絡道路」の早期実現を目指す促進大会に、約130人が出席しました。今年3月には同連絡道路の一部「西脇北バイパス」が部分開通。大会では、整備促進などを求める決議文を採択しました。

高校生が出張カフェ

〔9月20日 みんなの家あじさい〕



パンやサラダ、デザートなど7品を一皿に盛ったオリジナルモーニング。生徒は接客にも挑戦

西脇工業高校家庭科部が津万地区の「みんなの家あじさい」で、地元食材を使ったモーニングセットを提供しました。あじさいは同地区の「津万地区自治協議会」が空き家を改修した建物。協議会の協力を得て開店したカフェに次々と住民が訪れ、高校生が提供する朝食を楽しみました。



遊びの達人・プレイリーダーとともに「遊び」を存分に楽しむ子どもたち



ピアノやハンドベル、フルートのアンサンブル演奏。なじみの曲が演奏されると踊りだす子どもも

大型エア遊具で全身を使って遊ぶ「青空こどもプラザ」に、市内外から親子連れら約390人が参加しました。イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように遊べない中、屋外で存分に体を動かして遊んでもらおうと企画。秋空の下、子どもたちはエア

トラックの上を走ったり、トランポリンで高く跳んだり、積み上げられたソフトブロックに登ったりして、「遊び」を楽しみました。また、館内では「みらいえDE演奏会」を開催。6グループがさまざまな楽器演奏を披露し、来場者は美しい音色に耳を傾けました。

秋の一日をみらいえで過ごす

〔10月11日 茜が丘複合施設みらいえ〕



満月の夜に行った天体観測。美しい天体に歓声を上げる参加者たち

親子連れら約140人が天体観測に訪れ、夜空を眺めました。催しは子どもたちに天体に興味を持ってもらおうと開催したもの。参加者はテラ・ドームの職員から説明を受けながら望遠鏡をのぞき込み、クレーターがはっきり見える月や輪を持つ土星などに歓声を上げました。また、当日は図書館ボランティア「テントウズ」が月の絵本の読み聞かせをしました。

夜空を見上げて

〔10月2日 茜が丘複合施設みらいえ〕



市内で暮らす外国人にごみの分別方法を説明する西脇高校の生徒たち

西脇高校インターアクトクラブが、市内で暮らす外国人に「ごみの出し方」を説明する交流会を開催しました。同クラブはこれまで、日本の料理や遊びを通じた異文化交流を実施。今回は、外国人がごみの分別に困っていることを知り、西脇市国際親善交流協会と協力して初めて企画しました。生徒は燃えるごみや容器包装プラスチック、不燃物への分別方法を説明しました。

外国人にも暮らしやすいまちへ

〔9月26日 西脇高校〕

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中!